

乳房検査について

●視触診とは

医師が目で乳房を観察してくぼみがないか、手で触れてしこりがないか、リンパ節が腫れていないか、乳頭から分泌物がないかなどを観察します。しこりを発見する事で、乳癌を発見する可能性があります。

●超音波検査とは

数mmの小さな腫瘍（しこり）を見つけやすく、腫瘍の性状が詳しく分かり、腫瘍形成の乳癌の発見に可能な検査です。

マンモグラフィー検査では正確な診断をしづらい若い女性の乳腺の状態も比較的正確に把握できる事や、腫瘍の中の状態や広がり具合まで観察できることが特徴です。妊娠中でも検査可能で、痛みはなく体への負担はほとんどありません。

★超音波検査のメリット

針を刺したり、放射線や薬を使わないので、身体への負担は軽度です。
乳腺密度の高い人や若い人への検査に適しているといわれています。

●マンモグラフィー検査との違い

乳房を平たくしてはさむので痛みを伴うことがあります。

乳腺密度の高い人や若い人の場合はわかりにくいことがあります。

妊娠している方は受診出来ません。

当院では経験豊富な医師による、体への負担が少ない視触診と超音波検査を採用しております。健診・ドックご利用の際は、是非ご検討ください。